

様式第7号（第21条関係）

番 号
令和 5年 6月27日

佐賀県県民協働課長 様

住 所 佐賀県佐賀市水ヶ江1丁目2番3-2号
団 体 名 NPO法人poco a bocco
代表者職・氏名 理事長 寺野幸子
電 話 番 号 0952-60-2152

佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による
寄附金活用実績報告書

令和4年度において、当団体に交付された佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」を活用して別紙のとおり事業を実施したので、佐賀県ふるさと寄附金（「県民協働の地域づくり」及び「NPO等を指定した支援」）による寄附金交付要綱第21条第1項の規定により提出します。

-

令和4年度 佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による寄附金活用実績報告書

- 1 団 体 名 : NPO法人poco a bocco
- 2 事業実施期間 : 令和4年4月1日から 令和5年3月31日まで
- 3 事業の背景 (※事業計画書から転記)

■事業の実施により実現したい佐賀県の地域像

人生100年時代の今、女性達が”こころ”も”からだ”も軽やかに、しなやかに、美しくあり、人生の様々なライフステージを元気に過ごしていくことができる佐賀県の実現を目指してサービスを提供していく。

4 事業の成果

①県民の便益にどのようにつながったのか

コロナ禍で運動量が減ったり、人とのつながりが希薄化している人が多かったため、継続して足を運びながら自分のココロや身体のケアを行うことが出来るイベントやフィットネスを実施した。託児サービスも行うことで未就園の子どもを育てる母親も参加しやすい環境をつくった。また、シングルファミリーのための子ども料理教室は料理を作れるようになるだけでなく、大人や学生、さまざまな年齢の子どもたちとのつながりを通して、自分は一人ではないこと、支えられていることを実感することができ、さらに親は子どもが料理している間にゆっくり休んだりおしゃべりしたり、ひとり親同士の交流を深めることができた。

②佐賀から広がった社会像（該当する活動のみ）

- 5 寄附金活用事業実績 : (別記1)
- 6 次年度繰越額活用見込み : (別記2)
- 7 寄附金活用額 : (別記3)

(別記2) 次年度繰越活用見込み

○次年度に繰り越した寄附金の活用見込み

事業名	具体的な事業内容 (予定) ①目的②対象者③実施内容	①実施日時 ②実施場所 (見込み)	事業費の 支出見込み額 [単位:円]	うち寄附金 活用見込み額 [単位:円]
GCF「シングルファミリーの子どもたちのための料理教室COMPASS開催」	①シングルファミリーの子どもの食育、心の拠りどころづくり ②県内のシングルファミリー ③GCF「シングルファミリーの子どもたちのための料理教室COMPASS開催」を実施し、2023度の事業継続のために繰り越しを行った。	①月1回 ②アバンセ、その他	400,000	300,000
GCF「さが妊娠・子育て応援プロジェクト BigTree」	①妊娠期から就園前の家族を、様々な団体が連携してサポートするネットワークづくりと新しいサービスの創出 ②妊娠期・就園前の育児期の家族 ③講座やイベントを開催し、学びや仲間づくりの機会を提供する	①週3回程度 ②当団体事務所、公共施設等	3,000,000	550,000
計			3,400,000	850,000

(別記3) 寄附金活用額

【収入】佐賀県ふるさと寄附金収入額 … ① (=A+B)		3,221,171
(内訳)	本年度の佐賀県ふるさと寄附金収入額 … A	2,821,171
	本年度交付を受けた佐賀県ふるさと寄附金分	2,710,800
	前年度控除額(県事務経費)還付分	110,371
	前年度収入済の佐賀県ふるさと寄附金繰越額 … B	400,000

【支出】佐賀県ふるさと寄附金活用額… ② (=a+b)		2,371,171
(内訳)	事業に活用した寄附金額 … a	1,827,477
	ふるさと納税の募集に要した費用の額 … b	543,694
	返礼品等の調達に係る費用	415,146
	返礼品等の送付に係る費用	37,948
	広報に係る費用	0
	事務に係る費用	90,600

佐賀県ふるさと寄附金の次年度繰越額 … ③ (=①-②)	850,000
-------------------------------------	----------------

■直近の収支報告書掲載箇所(ホームページURL等)

<https://www.pocoabocco.jp/houkoku/>